

台湾 12 「中元節」

台湾で旧暦の7月は「鬼月」と呼ばれ、亡くなった人々の霊が帰ってくるので、各家庭や商店ではお供え物を用意して供養します。日本のお盆にあたる旧暦7月15日は、道教(台湾の伝統的な宗教の一つ)に基づいた「中元節」(今年は8月17日)。各地で無病息災、家内安全を祈ってさまざまな祭事が盛大に行われます。勇壮な「搶孤」は宜蘭県頭城と屏東県恆春に残された中元節の伝統行事です。

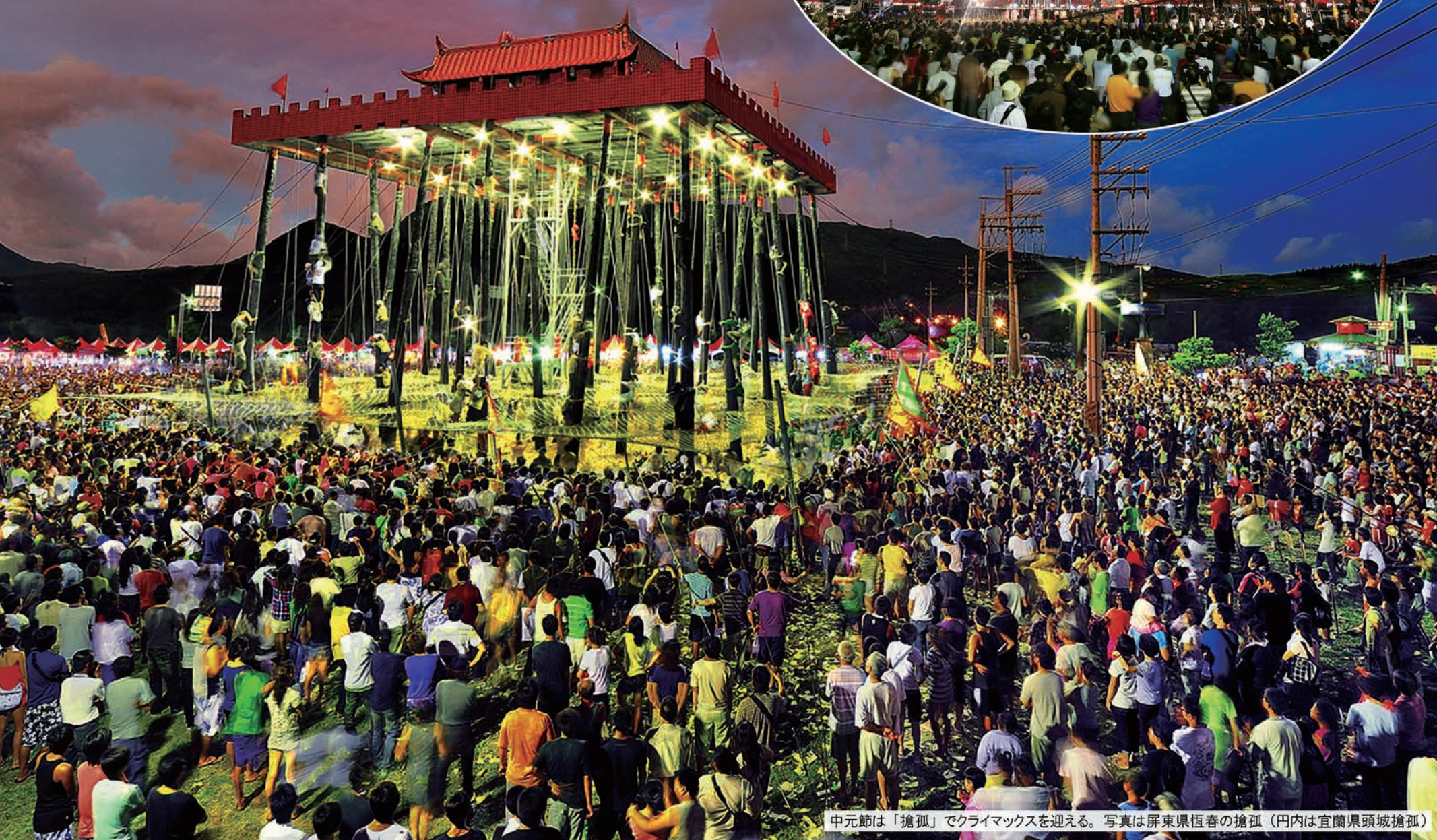
■制作協力Ⅱ台北駐日経済文化代表処／画像提供Ⅱ台湾観光局／文Ⅱ萩原正人

産経 子ども ニュース 育て！子どもたち
台湾シリーズ感想募集中

日本のお隣、台湾の情報を12回にわたり発行します。
みんなの感想を大募集！
感想を送ってくれた方には、フジテレビのグッズを全員にプレゼントします。

QRコードがホームページからアクセスしてね！
<http://www.sankeikids.com/>

台湾シリーズは下記のホームページで見られます。
台北駐日経済文化代表処ホームページ
<http://www.roc-taiwan.org/jp>
産経子どもニュース「育て！子どもたち」
<http://www.sankeikids.com>



中元節は「搶孤」でクライマックスを迎える。写真は屏東県恆春の搶孤（円内は宜蘭県頭城搶孤）

①19世紀、過酷な開墾作業で亡くなった人たちの霊を慰め、お供え物を取り合ったのが「搶孤」の始まりといわれています。銅鑼や爆竹、ラッパが鳴り響く中を油が塗られた柱に登り、柱の先端にある旗を奪ったチームが優勝です。「搶孤」は台湾の「中元節」を代表する伝統行事の1つとして受け継がれています。